

平成 27 年度第 1 回宮城県災害ボランティアバス に参加してきました！

平成 27 年 8 月 8 日（土），夏休みの 1 日を利用し，希望者 34 名で宮城県へ災害ボランティアに行ってきました。（特別活動部）



全線開通した常磐道を北上します。途中福島原発に近づくにつれ放射線量を示す電光掲示板の数値が上がり，緊張が高まりました。



また，除染で取り除いた土や放射性物質に汚染された廃棄物が田畑の真ん中に積まれているのも度々見かけ，放射線汚染についても考えさせられました。



途中雨に降られ心配しましたが，幸い現地では無事作業することができました。

途中のサービスエリアでの休憩の様子です。
早朝の出発だったので，朝食を買う生徒もみられました。地元の特産品を使ったおにぎりなどを食べ，おいしい食事となりました。

そして 5 時間以上かかってたどり着いたのが，宮城県石巻市の大川小学校です。みなさんご存じの通り東日本大震災による津波で多くの児童と教職員が亡くなりました。



到着後すぐに慰霊碑に献花して参加者全員でお祈りしました。



大川小学校では、一般の方は入れない校舎の中庭で除草作業を行いました。
すぐ横には津波で破壊された校舎が、今でも生々しい爪痕を残しています。
その悲惨な光景と言ったら言葉にできないほどでした。



一通り作業を終了したところで、地元の方が大川地区の被害について航空写真を使いながら丁寧に説明してくださいました。



●生徒の感想文より（抜粋）

・観光会社さんによると、私たちがやれることは、もう生活支援だけだそうで、それも今回行ってきてなるほどなと思いました。やれることは少ないけれど、やるべきことはまだまだたくさんある。東北の方の気持ちを、事実を決して忘れてはいけない。そう思い直させてくれるボランティアでした。（2年 M.H）

・私たちにはあの震災は過去のものになりつつあるが、被災地の方々にとってはまだいま現在のもの。今回この災害ボランティアに参加して、その意味が少しわかった気がします。私たちにできることは少なくなっているけれど、行くだけで、ボランティアバスが通るだけで元気づけられる人がある。「邪魔だから来るなと言われるまで行き続けよう。」そんなバス会社の方々の思いがとても心に刺さりました。また機会があればこの災害ボランティアに参加したいです。『あなたが無駄にした今日一日は、あの人が生きたかった一日だ』。添乗員さんに教えてもらったこの言葉を胸に刻み、毎日を大切にしたいと思います。（2年 K.I）

今後も定期的に活動していく計画です。

